

「行動分析学」を教育に導入

御代田で幼稚園計画

北佐久郡御代田町在住で、桜花学園大学大学院(愛知県)客員教授の奥田健次さん(42)が、自身が研究・実践する心理学の「行動分析学」を教育に取り入れた幼稚園を、同町塩野に開設することを計画している。奥田さんによると、行動分析学は自閉症や発達障害の子どもたちへの対応に活用されており、教育への導入は国内やアジア地域では数少ない取り組みという。

奥田さんによると、行動分析学は、行動を個人の心の問題とするのではなく、行動の前と後の状況(環境)の変化を分析し、周囲の環境を調整することで問題行動の改善に

名古屋から移住の専門家



行動分析学を生かした幼稚園を計画している奥田さんと建設予定地

つなげる。

計画している園の名称は「サムエル幼稚園」で、年少から年長児を対象に35人規模。御代田町内外から入園者を募集する。奥田さんは、6

月末に県に設置認可申請書を提出した。県私学・高等教育課によると、現在審査中で、認可する方針となれば、10月

に予定している私立学校審議会に諮問する。園設置が認可された場合にも、その後、学校法人設立の認可などが必要となる。

奥田さんは、2012年に名古屋市から御代田町に移住。使われていなかった合宿施設と敷地を自費で取得し、行動分析学の基礎と実践を学

ぶ研修・合宿施設「行動コーピングアカデミー」を開設した。幼稚園が開設できる方向になれば、アカデミーがある敷地と建物を、園を運営する学校法人に寄付。新築と既存の建物を合わせて園舎にする。学校法人理事長は奥田さんが務める予定だ。

奥田さんは「サムエル幼稚園は、共生社会の形成に向け、文部科学省が進める特別支援教育の推進にも合致している。開設できれば、地域に開かれた園として、教育相談や支援活動も行いたい」と話している。

県内